

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区	地区内集落	作成年月日	直近の更新年月日
八幡浜市	白浜	高野地、津羽井、大平、高城、中浦、大内浦、杖之浦、勘定、大島	令和3年3月22日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	347.2	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	198.0	ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	64.3	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	25.7	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5.1	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.73	ha
(備考) ・中心となる経営体は65経営体。 ・5年後に経営規模拡大を計画している中心経営体は、18経営体、拡大予定面積14.83ha。		

2 対象地区の課題

☐ 現在の耕作・維持管理	できている農家が多い。
☐ 農業後継者・高齢化	向灘地区・高野地地区においては、後継者が多い。 大平地区・津羽井地区は、高齢者が多くなっている。後継者は40代が多い。
☐ 今後の地域農業の担い手	後継者が増えているが、高齢化も早い。
☐ 新たな農地の受け手確保の必要性	必要
・移住による新規就農者も支援しており、数人ではあるが就農している。 ・耕作面積を増やしたい希望の人が少ない。耕作地のほとんどが急傾斜地であるため、現状維持がやとで余力がないためか。	

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

白浜集落の農地利用は、今後も農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となって集積の斡旋を行っていく。また、入り作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

Iターン及び非農家による就農支援を行う。
既存のスプリンクラー(灌水・防除)施設の改修が必要となってきたため、順次改修を進め、農作業の省力化を維持する。
鳥獣被害防止対策の継続。
新たな愛媛ブランドの産地化。香酸柑橘(フィンガーライム)の施設栽培による安定生産・高品質化を目指す。